



あおもり あきた

## お米の生産地レポート



穂が大きく垂れ下がり、収穫を間近に控えたつがるロマンの田んぼ

本会が取り扱っていますお米は、11月4日お届け分から26年産新米になっておりますが、お試しいただきましたでしょうか？

その新米の取り扱い前の9月中旬に、つがるロマン及びまっしぐらの産地である青森県、あきたこまちの産地である秋田県に行き、JA職員や生産者等から生育状況、安全・安心への取り組みについて話を聞くとともに、田んぼの状況や稲の保管場所等を確認してきました。

青森県及び秋田県のいずれの産地も、生育状況については8月初旬までは順調でしたが、夏場の天候不順、日照不足等で生育の遅れが危ぶまれました。しかし、その後は順調に推移し平年より「やや良」の収穫量が見込まれているとのこと。本会がお届けしています学校給食米つがるロマン及びあきたこまちは、農薬節減米<sup>(注1)</sup>です。農薬を減らすために、生産地では科学的根拠に基づいて肥料や農薬散布を行うなどの様々な努力をしています。また、



コンバインが田んぼに入りやすいように、鎌を使つての稲刈り作業



青空のもと、丹精込めてつくったあきたこまちのコンバインでの稲刈り

美味しいお米を栽培するために、田植えの時期、夏の草取り、稲刈りなど日々の成長状況に合わせての作業のお話しには、生産者の熱意を感じる事ができました。そのことはご利用いただいていますみなさまに伝えたいことでもあります。

昨年より青森県産まっしぐらの供給を開始させていただきましたが、みなさまからのご支持もあり、順調に供給量も伸びています。このまっしぐらは慣行栽培米<sup>(注2)</sup>ではあります。青森県の冷涼な気候といもち

病抵抗性等によって、農薬の使用量が抑えられます。

まっしぐらは粒が大きめで噛みごたえがあり、食感がしっかりしていることから人気が出ています。

26年産新米も出荷前に放射性物質検査を行うとともに、残留農薬検査・DNA検査・重金属検査(カドミウム検査)についても産地ごとに行っています。

また、本会でもお米を使用していたりいます学校からサンプリングして、同様に残留農薬検査・DNA検査・重金属検査(カドミウム検査)を行っています。

これからも、みなさまに美味しく、安全で安心してお使いいただけますお米を供給してまいりますので、ぜひご利用ください。

(注1)その地域での慣行農薬成分回数の1/2以下  
(注2)その地域で普通一般に行われている栽培方法